

パブリックコメントの実施結果について

「(仮称)富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村地域公共交通活性化協議会地域公共交通計画(素案)」に対する意見を募集しました。その結果について、以下のとおりお知らせします。

1.概要

募集期間：令和 7 年 2 月 1 日(土)～令和 7 年 2 月 28 日(金)

閲覧方法：Web 閲覧 または 公共施設(市役所やすばるホールなど)での閲覧

提出方法：電子申請システム(LoGoフォーム)で提出する または 持参・郵送・FAX・Eメールで提出する

2.実施結果

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

区分	人数
持参	3 人
郵送	2 人
FAX	20 人
Eメール	2 人
電子申請システム(LoGoフォーム)	12 人
合計	39 人

区分	人数
無効(住所氏名が無記名のため)	5 人

該当項目	意見数
01 はじめに	0 件
02 地域の概況・地域公共交通の現状	2 件
03 基本方針及び計画の目標	6 件
04 目標を達成するための実施事業	34 件
05 計画の推進	1 件
計画全般	5 件
その他関連	25 件
他のパブリックコメントに関する意見	1 件
合計	74 件

3. 代表意見の概要と事務局の見解

【02 地域の概況・地域公共交通の現状】

意見概要(抜粋)		事務局の考え	頁	件数
1	「高齢者の運賃減額割引」を導入してほしいというワークショップでの意見があったが、高齢者だけではなく、通学に利用している学生も対象にしてほしい。	本地域の地域公共交通については、利用者が利用しやすいサービス内容への改善が必要と認識しております。来年度以降、分科会を設置し、現在のサービスレベルを基本としつつ、いただいたご意見の内容につきまちは今後の事業検討の参考とさせていただきます。	20	1
2	運賃については、兄弟割引や何かお得感がなければ乗れない。公共交通を利用してもらうきっかけづくりとして具体的なものはあるのか。	地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、検討していく必要があると認識しております。公共交通を利用してもらうきっかけづくりとしては、P.58 事業 7 の取組内容 1 の通り、公共交通を利用した買い物などのお出かけ企画や利用特典の付与、通院やリハビリ等と公共交通の利用を連携した取組など検討してまいります。	30	1

【03 基本方針及び計画の目標】

意見概要(抜粋)		事務局の考え	頁	件数
1	さくら坂路線について、新たな財政負担をせずに実現するには、17時台2本を見直し、22時台に回してみてもいいか。	地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、検討していく必要があると認識しております。一方で、人口減少に伴う利用者数の低迷や乗務員不足など、公共交通を取り巻く問題により、限られた財源の中で現状のサービスを維持することが課題となっております。来年度以降、分科会を設置し、現在のサービスレベルを基本としつつ、交通事業者と連携しながら運行内容の見直しを検討してまいります。	42	1
2	金剛ふるさとバスになってから、片道240円かかるようになり負担が大きくなった。通学バスへの混乗、あるいは、生徒手帳を見せれば半額になる制度ができないか検討してほしい。	地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、検討していく必要があると認識しております。来年度以降、分科会を設置し、現在のサービスレベルを基本としつつ、交通事業者と連携しながら運行内容の見直しを検討してまいります。	43	1
3	近鉄と「交通事業者と協議のうえ、一定以上のサービス水準を維持」とは具体的に何をしようと言うのでしょうか。	本地域では、他市町村への移動需要が一定見られております。通勤通学や来訪者の移動実態やニーズを踏まえ、現在のサービス水準(運行頻度や時間など)を維持できるよう、来年度以降、分科会を設置し、交通事業者と連携しながら利用促進策に取り組むなど、引き続き検討してまいります。	43	1
4	「交通事業者は『サービスの改善、情報案内の提供・充実』」等とあるが、具体的に近鉄については何を求めているのか。	鉄道駅は、交通結節点としての機能を持っており、バスやタクシーなどへの円滑な乗継が求められています。金剛ふるさとバスの時刻表の見直しには、近鉄電車のダイヤ改正などの情報提供は必要不可欠になります。また、P.56 事業 5 の取組内容 1 の通り、駅ロータリー内での乗継案内の強化など、細かな連携により利便性の向上を図ってまいります。	45	1
5	多方面に渡る取り組みには専従の担当職員が必要だと考える。秘書政策課だけでなく、役場職員で専門のプロジェクトチームを作って取り組むべき。	本計画の策定後、具体的な施策に取り組むうえで、交通事業者を始めとした様々な関係者との連携・協力は必要不可欠であると認識しております。役場職員だけでなく、幅広い分野の関係者と適宜協議を行いつつ、実現に向けた取り組みをしてまいります。	46	1
6	4 市町村が走行距離に応じて負担している分担金と同額を乗客に支払わせる(実質値上げ)ということか。実質的に公営に等しいふるさとバスを、何の根拠で料金の値上げをするのか。	金剛ふるさとバスを将来にわたり維持していくためには、利用者数と収支率を見据えた取り組みが重要であると考えております。来年度以降、分科会を設置し、現在のサービスレベルを基本としつつ、関係機関と連携しながら運行内容の見直しを検討してまいります。	46	1

【04 目標を達成するための実施事業】

意見概要(抜粋)		事務局の考え	頁	件数
1	8 事業の 7・8 番目に住民参加が申し訳(利用するだけ)に書かれているが、住民アンケートを取るだけでなく、事業の計画から実施に至るまで住民と共にを行うのが地方自治ではないか。	本計画を策定するにあたり、地域住民に参加していただき、“金剛ふるさとバスのあり方”や、“将来に向けて維持していくために、自分たちができることは何か”といった、公共交通について考えるワークショップを開催いたしました。今後も、P.59 事業 8 の取組内容 2 のとおり、継続して地域住民が参加し、自分たちの地域を運行する地域公共交通について考えていく機会を設けていきたいと考えております。	50	1
2	ふるさとバス 1 日フリー乗車券について、地域住民以外の人達にも各市町村での観光地、季節に合わせた見どころ、イベント開催地などを知らせ、住民以外の人達にも利用してもらう工夫をしてほしい。	1 日フリー乗車券については、地域住民だけでなく観光来訪者の利用も想定しておりますので、P.52 事業 2 の取組内容 2 のとおり 4 市町村が主体となり、利用しやすいの創出をめざし金剛ふるさとバスの利用促進を図ってまいります。	52	1
3	富田林病院、PL 病院の送迎バスをバス代を払ってでもいいので利用したい。	限られた財源の中で、今ある輸送資源を上手に組み合わせながら、地域の実態に合った移動サービスを検討することは重要であると認識しております。各輸送資源の役割を踏まえつつ、連携して本地域にあった地域公共交通のあり方を検討してまいります。	53	4
4	乗務員の確保のための対策も入れてもらっているが、「検討」とされている。できる所からすぐ実施して乗務員の確保を進めてほしい。	全国的に乗務員不足は深刻化しており、確保に向けた取り組みは急務であると認識しております。P.53 事業 3 の取組内容 2 の通り、運転体験会や職業セミナー・PR 実施、第二種運転免許の取得促進など、引き続き交通事業者や関係者と連携しつつ、対策の検討及び実施に向けて取り組んでまいります。	53	3
5	PayPay やカナちゃんコインなどの QR コード決済と整理券を組み合わせる方式は、導入コストが非常に低く、全国で導入事例もあり実現可能ではないか。	ご意見の通り、支払方法については、路線によっては現金のみの利用となっております。一部路線において交通系 IC カードが導入されていない路線が存在し、さらには、停留所によっては IC カード対応の便と非対応の便が混在していることで、利用者にはご不便をおかけしていることかと思えます。導入費用や維持管理費用を考慮しつつ、利用者の利便性の向上に向けて、検討してまいります。	53	1
6	「自動運転」の実証実験の実施もあげられているが、地域住民の意見を聞いて、人が乗る車であることを忘れず安全第一としてほしい。	自動運転バスの実証実験の実施主体は大阪府であります。本協議会といたしましても、地域住民の安全を第一とした取り組みとなるよう大阪府と連携してまいります。	53	8
7	金剛ふるさとバスは、乗りたい時にバスが無いので困っている。回数をもうちょっと増やしてほしい。	地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、検討していく必要があると認識しております。一方で、人口減少に伴う利用者数の低迷や乗務員不足など、公共交通を取り巻く問題により、限られた財源の中で現状のサービスを維持することが課題となっております。来年度以降、分科会を設置し、現在のサービスレベルを基本としつつ、交通事業者と連携しながら運行内容の見直しを検討してまいります。	55	4
8	レインボーバスの運行にオンデマンドシステムの利点を取り入れ、増便とともに、公的施設や大型商業施設などを巡回する交通システムの充実を進めてほしい。	富田林市レインボーバスは、富田林市が市内の主な公共施設を巡回するコミュニティバスとして富田林駅前～金剛連絡所前間を運行しており、市民の日常生活における移動手段を確保しております。今後の市内のコミュニティ交通のあり方については、富田林市交通会議が主となり検討を行い、本協議会も連携してまいります。	55	2
9	金剛ふるさとバスは、昼間の時間帯など利用者数は少ないので小型バスやワゴンタイプにするなど利用実態を見て検討すべき。	来年度以降、分科会を設置し、現在のサービスレベルを基本としつつ、交通事業者と連携しながら運行内容の見直しを行ってまいります。車両のダウンサイジングにつきましても今後の参考とさせていただきます。	55	2

10	カナちゃんバスが、中学生の登下校の時間にバスが無くなったことで不便になった。	カナちゃんバスは、地域住民の日常生活における移動手段を確保・提供するために、地域内の施設を経由する形で運行しております。 一方で、利用者数の低迷や巡回できていない地域の存在、乗務員不足によるサービス維持の難化など、コミュニティバスの運行には課題がある状況です。 今後、カナちゃんバスのあり方については、河南町地域公共交通会議が主となり検討をしていき、本協議会も連携してまいります。	55	2
11	一番赤字路線の河内線のバスをやまなみタクシーに変更した方がバス車両を確保できるのであれば、その方がよいのでは。	来年度以降、分科会を設置し、現在のサービスレベルを基本としつつ、交通事業者と連携しながら運行内容の見直しを行ってまいります。運行範囲や路線再編につきましても今後の参考とさせていただきます。	55	1
12	バス停に屋根がないし、椅子もない。	バス待ち環境の整備は、利用者が快適にバスを利用するために重要な取組だと認識しております。 P.56 事業 5 の取組内容 2 の通り、上屋やベンチ等の設置のほか、情報提供も含め、引き続き検討してまいります。	56	3
13	昨年折角決定した愛称『金剛ふるさとバス』があまり活用されていないのが勿体なく感じる。 地域住民に少しでも愛着を持ってもらい、自分達も参加して作り上げたと感じてもらうことがマイバス意識の醸成、利用の促進に繋がるのではないかと。	金剛ふるさとバスを将来に向けて維持するためには、地域に根付いたサービスであることが重要と認識しております。 ”金剛ふるさとバス”の名称が定着し、地域の公共交通として地域住民から愛着がもたれるように、引き続き情報案内や利用促進策を検討してまいります。	58	1
14	富田林駅に様々なバスが集まっています。バスマニアには魅力的です。一日フリー券は賛成です。観光モデルと道の駅割引、入館料割引などの特典を付け、呼び込みをお願いします。	P.59 事業 8 の取組内容 1 の通り、観光関係者や関連施設と連携して、公共交通を使って地域内の観光ができるおすすめモデルコースの作成や特典付きの散策パックなど、公共交通の維持に向けた利用促進策を検討します。	59	1

【05 計画の推進】

意見概要(抜粋)		事務局の考え	頁	件数
1	利用者は事故や遅延の情報が入りにくい現状のため、ふるさとバスや、各市町村の HP・LINE・防災無線の利用等で速やかな情報が共有できる体制が必要。特に、お客様相談窓口を作り要望や意見が届く窓口を一本化してほしい。	地域にあったサービス内容への見直しには、公共交通を実際に利用される地域住民の方からのご意見が必要不可欠と認識しております。 情報発信や利用者ニーズを把握する窓口体制の構築など、今後の参考とさせていただきます。	61	1

【計画全般】

意見概要(抜粋)		事務局の考え	頁	件数
1	私自身、もうすぐ運転免許を返納する時がくるため、その時、どこへも行けない状況がくるかと思うと不安。田舎に住んでいても、今までの友人に会えるよう計画を考えてほしい。	本地域の地域公共交通については、利用者が利用しやすいサービス内容への改善が必要と認識しております。 一方で、人口減少に伴う利用者数の低迷、乗務員不足など、公共交通を取り巻く問題により、限られた財源の中で現状のサービスを維持することが課題であります。 今後、現在のサービスレベルを基本とし、利用実態やニーズを踏まえサービス改善をしつつ、地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、引き続き検討してまいります。	-	2
2	過去ワークショップの参加者でバスを利用する現役世代の声が少ないように見受けられるので、幅広いバス利用者にこのパブリックコメントの事を周知してほしい。	公共交通は、幅広い世代からの継続的な利用があって維持できるものと認識しております。 現役世代からのご意見もいただくことができるよう、今後のパブリックコメント周知の際は参考とさせていただきます。	-	1
3	バス路線の安定した維持には国や府からの補助は不可欠である。国に対しては補助金制度の拡充、府に対しては補助金制度創設を要望すべき。	今後も厳しい財政状況が続くことが予測される中、補助金の活用は、公共交通の維持に重要であると認識しております。 ご意見につきましては、今後の財源確保に向けて参考とさせていただきます。	-	2

【その他関連】

意見概要(抜粋)		事務局の考え	頁	件数
1	若い頃は、車での移動が多く、不便を感じ無かったが、免許返納すると、移動手段が無く、本当に困る。免許返納後の支援制度、タクシーチケットやデマンド交通など、検討して欲しい。	地域の方々が安全、安心、快適に移動できる環境の整備は重要であると認識しております。 今後、現在のサービスレベルを基本とし、利用実態やニーズを踏まえサービス改善をしつつ、地域の方にとって利用しやすい公共交通を提供できるよう、引き続き検討してまいります。	-	24
2	資料編の1-4ページの表の配色について、「10人以下」と「51~101人以下」の色が似ていて見にくいと感じた。	配色につきましては、ご指摘いただいた通り見やすさを考慮して、修正させていただきます。	資料編 1	1